

Date:2018/7/23



## 富山県立大学の生徒32名が 利賀ダム工事現場を見学



平成30年7月18日(水)に富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科の1年生32名が利賀ダムの工事現場を訪れました。

この見学会は、建設業界の担い手確保・育成を目的として、ダム事業や橋梁工事等の現場に触れて、建設業界の魅力を学生に伝えるものです。

見学会の冒頭、生徒代表の尾島真由香さんから「本日の現場見学を通じて利賀ダムのような社会基盤を整備する事業について学んでいきたい。」と決意表明をいただきました！

今回見学した現場は、利賀大橋・豆谷大橋・赤松谷広場の3箇所です。職員による事業の目的・規模などの概要説明と各現場で工事について説明を行いました。



生徒代表 尾島真由香さんからの挨拶



職員からの説明に熱心に聞き入る生徒たち

今回新たに現場見学ポイント【赤松谷広場】を増やし、ダム建設予定地を間近で見たことでさらにダムの大きさのイメージなど感じられたかと思います！

また、若手職員と女性職員がバスに乗り込み、国土交通省に入ったきっかけや仕事のやりがいなどをお話させていただきました。



初！現場見学ポイント【赤松谷平場】

生徒さんは晴天で暑い中、職員の説明を熱心に聞いており、熱中症など体調を崩す様子もなくとても良い見学会でした。この見学会を通じて、利賀ダムや建設業界により関心を持っていただけたと思います。



利賀大橋は  
水面から60mの高さ！  
「高いなあ...」

利賀大橋からダム湖  
を見下ろす生徒



利賀大橋にて記念撮影♪